

## 宮崎森林管理署交渉（全国林野関連労働組合宮崎森林管理署分会）

### 議事要旨

1 日 時 平成30年7月10日（火） 11:00～11:57

2 場 所 宮崎森林管理署 会議室

#### 3 出席者

宮崎森林管理署	飯干 好徳	署長
同	久保 幸治	次長
同	深田 隼人	総括事務管理官
同		

全国林野関連労働組合宮崎森林管理署分会	片山 恵介	委員長
同	歌野 国光	副委員長
同	井 崇行	副委員長
同	河本 正人	書記長
同	河合さつき	執行委員

#### 4 交渉事項

- (1) 空席ポスト及び事務取扱の解消による労働負担軽減について
- (2) 非常勤職員の雇用による適切な勤務条件の確保について
- (3) 職員の労働安全確保について

#### 5 議事概要

組合) 署内では要員減少により、一部の職員が欠員ポストを担って苦勞している現状にある。人事異動による空席ポストへの人員配置及び事務取扱の解除を強く要望しているところであるが未だ解消されていない。早急に解消するように上局へ強く要望するよう要求する。

当局) 事務取扱及び空きポストの解消については、引き続き上局へ署の実情を伝えながら要望して参りたい。また、業務負担を軽減するため、日頃から業務実態等の把握に努め、必要な場合には署内職員の応援、また隣接する森林官等の応援態勢を検討するなど、一部の職員に負担が偏ることのないように配慮して参りたい。

組合) 今年度の非常勤職員の雇用については、予算事情により雇用形態に変更があったところであるが、労働過重を改善する方策の一つとして、非常勤職員の確保は重要であると考えている。また、業務量と職員の配置についてはバランスがとれるようにし、一部の職員に負担が偏ることのないよう配慮願いたい。

当局) 業務を進めていく上で、非常勤職員が重要な役割を担っている事は認識しているところであり、来年度に向けての予算の確保については上部へ申達することとしたい。また、業務運営に当たっては、各総括を中心に職員の協力を得ながら進めることとし、一部の者に業務の負担が偏ることのないよう配慮して参りたい。

組合) 現場業務等に従事する職員は、ダニ刺咬予防対策として、そで締め・すそ締めの良い衣服を着用することとなっているが、炎天下の中、大変厳しい環境下での作業となることから、熱中症対策としても有効である空調服の導入を検討願いたい。

当局) 近年、土木や建設の現場等では、熱中症対策として空調服が普及していることは承知している。国有林の現場での活用についての今回の提案については、上局へ進達することとしたい。